

2024年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
中嶋洋平ゼミ /中野幸男ゼミ	サンタ・ムエルテ信仰の未来—メキシコの歴史的・文化的背景に基づく分析—
石井香江ゼミ	現代社会の暴力に対する批判—詩的なものの追求—
中嶋洋平ゼミ /伊藤玄吾ゼミ	現代日本における工芸の存在意義—民藝と commons の考察を通して—
水谷智ゼミ	イングランド・プレミアリーグにおけるレイシズムの現状と対策—ハビトゥスの概念を絡めて—
水谷智ゼミ	アルザス地域におけるライシテ言説の揺れ—宗教教育から見る非フランス共存の可能性—
清水穰ゼミ	日本型アイドル—「日本において少年・少女の商品化が常態化しているのはなぜか」—
宮寄克裕ゼミ	19世紀フランスにおける〈衣服〉の芸術表象——ゾラの作品分析を中心に——
石井香江ゼミ	オランダの同性婚—世界初の実現の歴史的背景とその意義とは—
宮寄克裕ゼミ	ピエール＝オーギュスト・ルノワールの裸婦画に関する考察
石井香江ゼミ	アメリカの労働の場における「ルッキズム」—化粧の可能性と限界—
中嶋洋平ゼミ	19世紀ハプスブルク帝国の海洋政策について—「海軍」と「海運」の連関的發展とその政治的・経済的意義—
宮寄克裕ゼミ	アール・ヌーヴォーの再解釈 ——現代のファッション業界において「アール・ヌーヴォー」が持つ役割とは——
尹慧瑛ゼミ	アイルランドの国民的娯楽としてのゲーリックスポーツ —ゲーリック・アスレティック・アソシエーションの果たした役割から紐解く—
尹慧瑛ゼミ	ギャング社会から成功者へ —20世紀末の西ドイツにおけるギャング組織「36ボーイズ」から考察—
立石洋子ゼミ /穂山洋子ゼミ	「標準語イデオロギー」の影響力の原因の分析・考察—ナショナリズムの観点から—
石井香江ゼミ	アニメ「美少女戦士セーラームーン」に見るジェンダー表象—国境を超えた受容と影響—
宮寄克裕ゼミ	ユダヤ系映画作家におけるホロコースト表象に関する考察——『シンドラーのリスト』、『戦場のピアニスト』、『ソフィーの選択』——
中嶋洋平ゼミ	フランス共和国におけるムスリムの権利—スカーフ着用をめぐる—
水谷智ゼミ	国家権力からの偏った圧力——イギリス警察のムスリムへの職務質問、不当逮捕から——
石井香江ゼミ	ジェンダーからみる児童労働の実態と構造——バングラデシュを事例に、根底にあるものはなにか——
尹慧瑛ゼミ	京都市におけるウクライナ避難民支援の軌跡 —持続可能な支援の構築に向けて—
水谷智ゼミ	ボブ・マーリーの音楽と〈下からの〉普遍主義——より「開かれた」パンアフリカニズムへ——
石井香江ゼミ	イギリス社会における職業イメージの形成と変化——家事使用人を事例として社会階層の視点から考察する——
立石洋子ゼミ	スウェーデンにおける移民就労支援制度についての考察—長期的な労働市場統合の観点より—
中嶋洋平ゼミ	欧州連合 (EU) における改正・新車乗用車・小型商用車 (バン) の二酸化炭素 (CO2) 排出規則に含まれる政策関係者の意図についての考察
尹慧瑛ゼミ	スウェーデンの住まいとデザイン —「社会美」の思想を通して—

2024年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
石井香江ゼミ	多文化共生社会における平等とは——フランスのスカーフ問題からの考察——
立石洋子ゼミ	平和推進国ノルウェーの国際的立場—アメリカとの関係性から分析する平和推進国の葛藤—
中嶋洋平ゼミ	地域イメージの形成と変遷—パリ「郊外」という場所の汚名化—
清水穰ゼミ	リアリティの正体—キャラクターコンテンツとメディア・ミックスから—
中嶋洋平ゼミ	公共的議論に対する推論の枠組みの系譜—公共的理性と公的な意志との類似性—
清水穰ゼミ	ヘルマン・ヘッセ『シッダールタ』のアメリカでの受容について —翻訳上の問題とアメリカ仏教の特徴から—
清水穰ゼミ	広告における差別的表現の有効性
水谷智ゼミ	イギリスのEU離脱（ブレグジット）と移民表象
尹慧瑛ゼミ	根を張り、共生の森を育む —ドイツの統合政策多文化共生ガーデン—
中嶋洋平ゼミ	2021年容器包装廃棄物法の改正から見るドイツの環境意識
立石洋子ゼミ	日本におけるデポジット制度のあり方についての検討
中嶋洋平ゼミ	グローバル化時代における福祉国家のあり方と日本の社会福祉の展望
石井香江ゼミ	パッケージデザインの生み出すジェンダー ——P&Gの柔軟剤を事例に——
石井香江ゼミ	魔女狩りと現代のマイノリティ迫害のメカニズム——中世ヨーロッパと現代アフリカの事例を通して——
石井香江ゼミ	性暴力と性的同意を定義する——エントラップメント型の性暴力とは——
水谷智ゼミ	ウィリアム・ブースにおける社会事業思想のグローバルな影響 —日本社会事業の発展にみる思想の交流と相互作用—
清水穰ゼミ	バレエ・プランの伝統と人種差別 ——黒人ダンサーの経験に基づく考察——
宮寄克裕ゼミ	The Duality of the Dutch Golden Age: Exploring Excess and Modesty in 17 th Century Dutch Dining Paintings
清水穰ゼミ	フラダンスの現在 —ハイブリッド文化とアイデンティティ—
水谷智ゼミ	人と自然、人と人を繋ぐ「コモンズ」——アフリカ農村社会・ベンバにおけるミオンボ林を事例に——
尹慧瑛ゼミ	ヘンリー・ロイヤル・レガッタに見る階級とアマチュアリズム —伝統と革新の間で—
石井香江ゼミ	フィンランドにおける「主婦像」の理想と現実——戦後の短編映画を手がかりに——
立石洋子ゼミ	ベルギーにおけるサン・パピエ問題の制度的課題—連邦制に基づく分業体制の観点から—
立石洋子ゼミ	避難民に対して日本の自治体は何を行うべきか
石井香江ゼミ	日本におけるカフェのジェンダーギャップと今後の可能性—客が多様化したのはなぜなのか—
尹慧瑛ゼミ	ハリウッド映画におけるアメリカン・ミソジニーの変遷

2024年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
石井香江ゼミ	有機農業が担うマイノリティの社会的包摂機能とその限界—アメリカ・イタリアの事例から—
立石洋子ゼミ	ソ連における生産配置政策の変遷
中嶋洋平ゼミ	グローバル社会におけるフランス共和国理念の再考—「ライシテ」を中心に—
水谷智ゼミ	開発途上国の環境保全と経済成長の両立—バイオフィック技術を使用したエビ養殖を事例に—
尹慧瑛ゼミ	カリフォルニア州サンディエゴ郡におけるメキシコ系の文化実践と「ボーダーランド」
立石洋子ゼミ	タリバンはいかにアメリカの対テロと闘ったのか——2001年から2021までのタリバン外交と軍事戦略から検証する——
尹慧瑛ゼミ	オーストラリアにおける子どもの貧困と高等教育の可能性 —高等教育支援制度を通じて—
尹慧瑛ゼミ	スペイン・アンダルシア州と移民 —選挙公約に見る「移民」—
尹慧瑛ゼミ	スポーツとカタール—ニャ州の地域ナショナリズム —FCバルセロナをめぐる—
宮寄克裕ゼミ	在日クルド人のアイデンティティ形成——川和田恵真監督『マイスモールランド』（2022）の考察を中心に——
水谷智ゼミ	ドイツ市民による難民「歓迎文化」 —2015年難民受け入れの背景として—
水谷智ゼミ	女性の社会進出と男性の育児・家事参加 —北欧各国の事例から—
立石洋子ゼミ	グリーンランドにおけるデンマークの植民地主義—自治権拡大に伴う新たな協調の模索—
清水穰ゼミ	南米ベネズエラの音楽教育プログラム「エル・システマ」 ——音楽は貧困から子どもを救い出せるか——
宮寄克裕ゼミ	19世紀西洋絵画における〈宿命の女〉像の起源に関する考察——ラファエル前派兄弟団を中心に——
水谷智ゼミ	現代における「弱い紐帯」と共同体の回復 —ナショナリズムを超えて—
宮寄克裕ゼミ	アメリカ映像メディアにおける性的マイノリティの差別的表象——1980年代以降のハリウッド映画の分析を中心に——
水谷智ゼミ	黒人の人種を越えた連帯—ヒップホップを通じたパレスチナとの連帯から—
宮寄克裕ゼミ	ホラー映画における《恐怖》の再構築——北欧ホラーに見る子どもの視覚と心理の交錯——